

一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ

事業報告書

(平成 28 年 (2016 年) 4 月 1 日から平成 29 年 (2017 年) 3 月 31 日まで)

事業の総括

2016 年度は、当団体が掲げる 2 つの活動の柱「多様な主体による対話と協働の場づくり」と「市民や企業による寄付・社会貢献活動への参加促進」を軸に、さまざまな機会に恵まれ、活動が展開しました。

神奈川県との協働で進めてきた「相談事業」、「パートナーシップ支援事業」に加え、昨年に引き続き「かながわコミュニティカレッジ」の運営を担いました。また、日本 NPO センターの協力を得て「2 つの非営利法人制度のあり方を考えるフォーラム」を神奈川で開催しました。さらに、かながわ生き活き市民基金を通じて得られた寄付をもとに、国際青年環境 NGO A SEED JAPAN と共催で「若者ソーシャルカフェ」(若者の地域への関心を高めるための学習と交流の場づくり)を実施しています。

各々の事業活動の詳細と成果については次葉以降を参照ください。

当団体は、2008 年の団体発足から 8 年、2012 年の法人化から 5 年が過ぎました。この間少しずつ活動の幅を広げ、共に事業活動を行う様々な主体との信頼関係を築き、団体としての組織基盤を作ってきました。この先にさまざまな活動展開の可能性を持つからこそ、ここで改めて団体の設立目的を解きなおし、3 年～5 年先の中期ビジョン・計画づくりが求められる時期にあります。中長期的な活動の方向性を考え、私たちの強みである、メンバーそれぞれが持っている市民社会への期待や思い、専門性やネットワーク、メンバー間のつながりを大事にして、引き続き「社会的な課題の解決の可能性を拓き、豊かで自立した地域社会づくり」に貢献する活動に取り組んでまいります。

1 多様な主体による対話と協働の場づくり

(1) NPO・企業・大学等のパートナーシップ支援

神奈川県では、NPO や企業、大学など、多様な主体が協働・連携し、複雑・多様化する地域課題の解決を図る社会づくりを進めています。当団体は 2008 年の団体発足時より、県が推進する「NPO と企業等の協働」に向けた各種事業の企画や運営・広報などに協力し、多様な主体による協働・連携を進める環境づくりに貢献してきました。

2016 年度は県と協働して、「企業・NPO・大学パートナーシップミーティング in 県央・神奈川」を海老名のリコーフューチャーハウスで開催しました。

○タイトル：協働して新たなモノ・コトを創り出そう！

企業・NPO・大学パートナーシップミーティング in 県央・神奈川

○日 時：2016 年 11 月 9 日（水）13:30~17:00 （17:00~懇親会）

○場 所：リコーフューチャーハウス（海老名市扇町）

○参加者：63 名（企業 23 名、NPO24 名、大学等 3 名、その他 13 名）

○プログラム：

ーパートナーシップ支援事業の紹介（神奈川県）

ーリレートーク

市村 彰さん （株式会社ネイト 代表取締役）

田中 美乃里さん（NPO 法人地域魅力 理事長）

山本 俊哉さん （明治大学理工学部建築学科 教授）

ーテーブルミーティング（参加者同士の情報交換・グループワーク）

ー交流タイム

（プログラム終了後に任意参加で交流会を実施）

○成 果：

- ・ 定員（50 名）を超える参加者（関係者除き 63 名）が集まり、盛況な会を催すことができました。
- ・ 参加者アンケートで、参加者の多くが「ミーティングから何らかの参考になる情報を得られた」と回答されました。
- ・ 企画当初から海老名駅前に交流拠点をもつ株式会社リコー（RICOH FUTURE HOUSE）と、神奈川県、ソーシャルコーディネートかながわの三者が協働してイベントの準備を進めることができ、本パートナーシップミーティングの趣旨にかなうプロセスが実現しました。
- ・ 会場が立地する海老名市および県央地域の複数の自治体を訪問し、パートナーシップミーティングの趣旨説明や広報など協力依頼を行うことで、各関係課に NPO×企業×大学等の協働取り組みへの情報を広める機会となりました。

○今後に向けて：

- ・ ミーティング開催後、参加者間での事業マッチングの報告は得られていません。ミーティングを開催した後、当地での参加者フォロー（相談対応、マッチングサポートなど）の手立てが見えていないことが課題として認識されました。

（２）市民団体・民間非営利組織（NPO）の協働力の向上

地域の様々な課題解決に向け、市民団体・NPO が活動基盤を強化し、他の主体と協働・連携して活動に取り組む力をつけるための支援事業を行いました。

（１）アドバイザー相談事業（かながわ県民活動サポートセンターと協働事業）

県の委託を受け「アドバイザー相談事業」の運営を始めて 5 年目となります。県民活動サポートセンター9 階の相談コーナーに、アドバイザーを交代で配置し

(当団体登録アドバイザー20名)、2016年4月1日から2017年3月31日まで、毎週火曜～土曜の12時～17時、来訪・電話・メールによる市民、非営利組織、企業の方からの相談に対応しました。

相談件数は年間549件となり、前年度に比べ若干増えました(2015年度は517件)。相談内容も、法人設立、団体運営や活動の進め方、助成金をはじめとする活動資金の確保など、情報提供に留まらない複雑な相談も増えています。このため、予め相談テーマを定め専門のアドバイザーを配置する「専門相談」や、市町支援施設と連携して開催する「出張相談」を充実させました。

○専門相談の実施

NPO 支援の専門家や支援組織と連携を深め、非営利活動・NPO 法人向けに専門相談会を開催しました。また、当団体アドバイザーによる相談会メニューも充実させています。専門相談の対応は年間80件(後述の出張相談での対応件数を含む)でした。下記は今年度実施した専門相談テーマです。

- ・ NPO 法人設立・運営 <38 件>
- ・ 事業計画・資金計画(協力：日本政策金融公庫) <4 件>
- ・ NPO 会計・税務(協力：NPO 法人税理士による公益活動サポートセンター) <18 件>
- ・ 資金調達・獲得(協力：ファンドレイジング・ラボ) <5 件>
- ・ 助成金申請 <8 件>
- ・ NPO と企業連携 <3 件>
- ・ 企業の社会貢献 <4 件>

○県内出張相談の実施

相談対応の一環として、当団体アドバイザーが県内5か所へ出張し、市町支援施設と連携して市民団体向けの個別相談会を設けました。出張先では、当地の市民活動センターの職員の方々にも陪席をお願いし、相談対応の実例を学んでいただく機会を提供しました。

- ・ ひらつか市民活動センター
日程：平成28年6月23日(木)
相談従事者：2名、相談件数：3件、陪席スタッフ4名
- ・ あいかわ町民活動サポートセンター
日程：平成28年9月27日(火)
相談従事者：2名、相談件数：1件、陪席スタッフ2名
- ・ 座間市市民活動サポートセンター
日程：平成28年10月26日(火)
相談従事者：3名、相談件数：8件、陪席スタッフ5名
- ・ 秦野市市民活動サポートセンター
日程：平成28年11月21日(月)
相談従事者：2名、相談件数：3件、陪席スタッフ2名
- ・ おだわら市民交流センターUMECO
日程：平成29年2月8日(水)
相談従事者：4名、相談件数：6件、陪席スタッフ3名

○支援センター職員のインターン受入れ

県内の市民活動支援施設における相談対応力向上をめざし、希望する支援施設・団体より、かながわ県民活動サポートセンターの相談コーナーに職員インターンを受け入れました。（年間で3施設から計5名の職員を受入れ。）実際の相談対応の場に陪席し、さらに当団体のアドバイザーと様々な情報交換をすることで、相談対応業務の実例を学んでいただきました。

参加支援施設：座間市市民活動サポートセンター
藤沢市市民活動推進センター
秦野市市民活動サポートセンター

(2) 2つの非営利法人制度のあり方を考えるフォーラムの開催（日本 NPO センターに協力）

非営利法人格選択に関する実態調査委員会（構成団体：公益法人協会、日本 NPO センター）が進めてきた、日本の2つの非営利法人制度（「一般・公益法人制度」「NPO 法人制度」）の利用に関する調査研究をもとに、より良い社会づくりに貢献するため、非営利法人を取り巻く制度はどうあるべきか、非営利法人を支援するための環境整備について、関心のある方々と課題を共有するフォーラムを神奈川で開催しました。

- タイトル：民間非営利セクターの発展に向けて
2つの非営利法人制度のあり方を考えるフォーラム in 神奈川
- 日 時：2016年9月12日（月）13:40~17:00
- 場 所：横浜市開港記念会館 9号室（横浜市中区）
- 主 催：非営利法人格選択に関する実態調査委員会
（構成団体：（公財）公益法人協会、（認定特活）日本 NPO センター）
- 共 催：（一社）ソーシャルコーディネートかながわ
- 参加者：31名（NPO10名、自治体5名、支援組織15名、大学1名）
- プログラム：
 - 第1部 「非営利法人格選択に関する実態調査」の中間報告
中島 智人さん（産業能率大学准教授）
 - 第2部 パネルディスカッション
会場との質疑・まとめ
- （登壇者）
 - 池畑 博美さん（認定 NPO 法人エンパワメントかながわ 理事・事務局長）
 - 大石 高久さん（公益財団法人かながわ生き生き市民基金 専務理事・事務局長）
 - 手塚 明美さん（一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ 代表理事）
 - 坂井 雅幸さん（神奈川県立かながわ県民活動サポートセンター 所長）
- （コメンテーター）
 - 山岡 義典（法政大学名誉教授、非営利法人格選択に関する実態調査委員会 委員長）
- （進行）
 - 新田 英理子（認定 NPO 法人日本 NPO センター 事務局長）

○成 果：

- ・ NPO、自治体、支援組織などから参加者 31 名、登壇者・開催者を併せて計 48 名が集い、2 つの非営利法人制度のあり方を巡り、登壇者同士および会場参加者との質疑応答や意見交換を活発に行うことができました。
- ・ 参加者アンケートでは、「認定を取る前の期待と取った後の現状認識とのギャップが目に見えて分析できる形になっていて、とても参考になった」「出席者も含め熱心な活発な議論が展開され有意義であるフォーラムであった」などの回答が得られました。

○今後に向けて：

- ・ 参加者アンケートから、今後への期待として「どの法人格を選んだとしても非営利で公益活動をする（社会をよくしていこうとする）法人がもっと社会に貢献しやすくなるための支援を検討してほしい」「もう少し寄付と税制に焦点をあてて、行政に提言できるような議論ができるといいと思った」といった意見もありました。非営利活動を行う法人を支援する環境整備に向け、今後もこうした研究調査が各所で進み、広く関係者の間で共有されることが大事であると考えます。

(3) 県域の中間支援組織としての仲介活動・提案活動

認定 NPO 法人日本 NPO センターの依頼を受け、明治ホールディングス株式会社株主優待で寄贈されるお菓子の寄贈先として、「障がいのある子どもを支援する活動」または「広域避難者を支援する活動」をおこなう県内の 12 団体を推薦し、同団体にお菓子が届く手配をしました。県域をカバーする中間支援組織という立場から、支援資源を県内の非営利組織につなぐ役割を今後も積極的に担っていきます。

寄贈先団体：NPO 法人まんま／NPO 法人夢・コミュニティ・ネットワーク／NPO 法人びな・パートナーシップ・ひろば／IDEA education／茅ヶ崎地区自閉症児・者おやの会(茅ヶ崎・寒川やまびこ)／おっちー塾／NPO 法人サポートハウスワン・ピース／NPO 法人厚木なのはな／認定 NPO 法人スマイルオブキッズ／NPO 法人よこはま・七つ星／福島親子とともに・平塚／守りたい・子ども未来プロジェクト

(4) 講師・委員の派遣

自治体や各地の支援組織、NPO などの依頼に応じてセミナー・研修会等への講師・アドバイザー派遣を行いました。

【講師・委員・アドバイザーなど派遣実績】

- ・ 川崎市指定 NPO 法人審査会委員 <2016 年 4 月～9 月、藤枝>
- ・ 国分寺市協働事業審査会委員 <2016 年 5 月・10 月、藤枝>
- ・ スタッフ向け環境 NGO・NPO 能力強化研修（NPO 法人 NPO サポートセンター）<2016 年 10 月～2017 年 1 月、藤枝>

- ・ 非営利法人格の選択を考えるフォーラム in 岡山（NPO 法人岡山 NPO センター）＜2017 年 10 月、手塚、葉石、藤井＞
- ・ 環境学習リーダー養成講座「市民活動について」（神奈川県環境科学センター）＜2016 年 11 月、手塚＞
- ・ ボランティア参加導入研修（生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ）＜2016 年 11 月、葉石、藤枝＞
- ・ 地域・社会貢献フォーラム 2016「企業×NPO→地域アクション」（川崎市）＜2016 年 11 月、藤枝＞
- ・ 協働のまちづくり研修会（愛川町）＜2017 年 2 月、手塚＞
- ・ NPO マネジメント講座（おだわら市民交流センターUMECO）＜2017 年 2 月、手塚＞
- ・ 県退職予定者説明会（神奈川県）＜2017 年 2 月、手塚＞

2 市民や企業による寄付・社会貢献活動への参加促進

(1) かながわコミュニティカレッジ事務局の運営（かながわ県民活動サポートセンターより受託）

かながわコミュニティカレッジは神奈川県が開設する、地域で活動する県民の「学びの場」です。ボランティアや NPO など、地域課題の解決や地域の活性化に向けた活動に取り組む人づくりを支えています。当団体は、「平成 28 年度かながわコミュニティカレッジ運営業務」をかながわ県民活動サポートセンターより受託し、コミュニティカレッジの事務局を運営しました。

様々なテーマで年間計 38 件の講座を開講し、講座の企画調整や広報・実施運営を行い、ボランティアや NPO 等の活動を行う個人・団体を支援しました。当団体が企画運営に直接関わった講座は下記のとおりです。

【2016 年度コミカレ講座のうち当団体が企画運営に関わった講座】

講座名称【実施団体／協力団体】	開催日程	受講者数
「生きづらさ」を抱えた方とその家族への理解と支援を広げる講座 【ふわふわの会／ソーシャルコーディネートかながわ】	6/7～7/19 (全 7 回)	43
子ども支援をはじめよう～子どもの今と未来 【子どもの未来サポートオフィス／ソーシャルコーディネートかながわ】	7/15～8/5 (全 4 回)	46
地域で高齢者を支えるために～回想法と共に学ぶ地域サロン運営講座 【回想法プランニング／ソーシャルコーディネートかながわ】	9/23～10/21 (全 5 回)	13
NPO マネジメント講座「NPO 会計を学ぶ（基礎編）」 【NPO 法人税理士のための公益活動サポートセンター／ソーシャルコーディネートかながわ】	9/1～9/29 (全 3 回)	35
NPO マネジメント講座「NPO 会計を学ぶ（実践編）」 【NPO 法人税理士のための公益活動サポートセンター／ソーシャルコーディネートかながわ】	10/7～10/28 (全 4 回)	31
NPO マネジメント講座「社会的インパクトを見える化する」 【株式会社ファンドレックス／ソーシャルコーディネートかながわ】	9/14 (全 1 回)	25

NPO マネジメント講座「団体のイベント企画を成功させる秘訣」 【株式会社ファンドレックス／ソーシャルコーディネートかながわ】	10/5、10/26 (全 2 回)	11
NPO マネジメント講座「ボランティアな力を巻き込んで新たな仲間を増やすコツ」 【認定 NPO 法人日本ボランティアコーディネーター協会／ ソーシャルコーディネートかながわ】	11/10～11/24 (全 3 回)	9
市民活動スタートアップ講座 【ソーシャルコーディネートかながわ】	11/30～1/18 (全 6 回)	11
企業×NPO 協働コーディネート入門講座 【ソーシャルコーディネートかながわ】	2/2～2/16 (全 3 回)	12
防災・減災に強いまちづくりを学ぶ 【防災塾・だるま／NPO 法人よこはま・七つ星／ソーシャルコーディネートかながわ】	2/4～2/18 (全 3 回)	16

【受講生フォローアップ交流会】

名称【講師】	開催日程	参加者数
ボランティア・市民活動のはじめ方（セミナー・参加者交流会）【仲村、関根】	10/27	8
伝える・伝わるコトバと想い～情報発信の重要性（セミナー）【手塚】	3/11	21

(2)若者ソーシャルカフェの開催

これからの社会を創り拓いていく若者たちに、自分たちが暮らす地域や社会とつながりを持ち、そこにある課題に気づき、他者との関わり合いのなかで、社会をよりよいものに変えていける力をつけてほしいという願いから、公益財団法人かながわ生き生き市民基金の「事業指定プログラム エラベル」を通じて市民の皆様から預かった寄付を原資に、「若者ソーシャルカフェ in 神奈川」を開催しました。

若者ソーシャルカフェ in 神奈川（第 1 回）

○タイトル：今だからこそ学ぼう・考えよう

～地域を変えるために私達ができること～

○日 時：2016 年 6 月 25 日（土）13:30～17:40 （18:00～交流会）

○場 所：かながわ県民センター11 階コミュニティカレッジ講義室

○主 催：NPO 法人 A SEED JAPAN、(一社)ソーシャルコーディネートかながわ

○共 催：NPO 法人アクションポート横浜

○参加者：22 名

○プログラム：

第 1 部 知る・学ぶ ゲストトーク

ゲスト

江口健介さん（NPO 法人横須賀創造空間）

中野友里帆さん（株式会社大川印刷）

コーディネーター

永井亮（NPO 法人 A SEED JAPAN 代表）

第2部 考える・行動する ワールドカフェ

参加者同士の意見交換

（プログラム終了後に任意参加で交流会を実施）

○成 果：

- ・ 35 歳以下の幅広い年齢の若者が集まり、若者が地域と接点をもっていくためにどんなことができるのか、ゲストも交えて活発な意見交換と交流を行うことができました。
- ・ 参加者アンケートでは、多くの参加者が「自分の意見を十分に発言できた(22 名中 15 名)」「他の参加者と話すことで、分かったこと・気づいたことがあった (22 名中 19 名)」と回答しています。また、約半数の参加者が「地域でやりたいこと、関心が持てることが見つかった (22 名中 10 名)」と答えてくれました。

若者ソーシャルカフェ in 神奈川（第2回）

○タイトル：30 人の若者が考えるやりたいことの実現に向けた自分の軸さがし

○日 時：2016 年 3 月 4 日（土）13:30～17:40 （18:00～交流会）

○場 所：かながわ県民センター11 階コミュニティカレッジ講義室

○主 催：NPO 法人 A SEED JAPAN、(一社)ソーシャルコーディネートかながわ

○共 催：NPO 法人アクションポート横浜、RCE 横浜若者連盟

○参加者：21 名（中学生・高校生 2 名、大学・大学院生 8 名、社会人 9 名、他）

○プログラム：

第1部 知る・学ぶ ゲストトーク

関澤春佳さん（動く→動かすコミュニケーションコーディネーター）

佐川 遼さん（NPO 法人アクションポート横浜 理事）

第2部 考える・行動する ワールドカフェ

参加者同士の意見交換

（プログラム終了後に任意参加で交流会を実施）

○成 果：

- ・ 中学生から 35 歳以下の社会人まで幅広い年齢の若者が集まり、現在の目標（やりたいこと）や、それぞれの未来に向けたアクションなど、ゲストも交えて活発な意見交換と交流を行うことができました。
- ・ 参加者アンケートでは、ほぼすべての参加者が「自分の意見を十分に発言できた(21 名中 20 名)」「他の参加者と話すことで、分かったこと・気づいたことがあった (21 名中 20 名)」と回答しています。また半数以上の参加者が「自分のやりたいこと、関心の持てることが見つかった (21 名中 14 名)」と答えてくれました。

○今後に向けて：

- ・ 共催した A SEED JAPAN のメンバーと毎回のゲストの多大な協力を得ることで、若者が生き活きと参加して、地域社会とのつながりを考え、これからやりたいことを語れる場（ソーシャルカフェ）を共に創ることができました。今年度は、公益財団法人かながわ生き活き市民基金を通じて市民の皆様のご寄付により運営しましたが、今後も資金の確保に努め、若者が地域や社会と関わるきっかけを作るための企画を展開していきたいと考えています。

3 組織基盤の整備

(1)団体紹介リーフレットとホームページの改訂

- ・団体紹介リーフレット（3つ折り A6 サイズ）の内容を更新して増刷しました。
- ・ホームページの改訂作業は、新しいホームページのテストサイトの構築まで進みました。引き続き、サイト構成の確認、コンテンツの入れ替えなどを行い、次年度中にホームページをリニューアルします。

(2)第三者組織評価への参加

- ・2016年にスタートした非営利組織評価センター（JCNE）が実施する「組織評価」に参加して、当団体の組織運営の取り組み状況を確認しました。その結果、5つの対象領域（1．組織の目的と事業の実施、2．ガバナンス、3．コンプライアンス、4．情報公開、5．事務局運営）のすべての項目に関して基準を満たしていることを確認しました。評価結果は、同評価センターのホームページ上で公開されています。<https://jcne.or.jp/org/n2016e002/>

以上